

第29回 関東地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時 令和2年12月7日(月) 15:00～18:00
2. 場 所 TKP大宮ビジネスセンター 1階 バンケットホール
3. 出席委員 宮村委員長、池田委員、池谷委員、石井委員、伊藤委員
小笠原委員、久保委員、清水委員、鈴木委員、知花委員
4. 議 事 定期報告：鬼怒川上流ダム群、宮ヶ瀬ダム
下久保ダム、草木ダム、滝沢ダム、武蔵水路

事後評価：武蔵水路改築事業
5. 主な意見

1) 定期報告について

- (委 員) 洪水調節では確実に水位低減効果があるのだから、推測などとは言わず、水位低減効果があったと言い切った方が良い。
- (委 員) 予測が難しい線状降水帯では、十分な事前放流ができない恐れもあるので、事前放流で異常洪水時防災操作が必ず避けられる訳ではないという事、むしろ回避できない事態がこれからもある事をダム直下の人たちに伝えて欲しい。
- (委 員) 近年、学校教育の変化は著しく、SDGs教育やESD教育がものすごいスピードで浸透しているので、多くの学校が見学に訪れるダムでは、一番大事な防災教育の部分で一定の役割が果たせるため、学校へのアプローチを引き続き行って欲しい。

2) 事後評価について

○所期の目的が達成されており原案で了承する。